



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社 PALTEK

上場取引所 東

コード番号 7587 URL <https://www.paltek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役オペレーションサービスディビジョン本部長 (氏名) 井上 博樹

TEL 045-477-2000

四半期報告書提出予定日 2019年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	7,114	18.6	83	60.3	5		15	
2018年12月期第1四半期	8,741	13.0	209	41.9	134	69.4	79	73.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 16百万円 (%) 2018年12月期第1四半期 72百万円 (75.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	1.45	
2018年12月期第1四半期	7.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	13,805	9,417	68.2
2018年12月期	13,846	9,542	68.9

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 9,417百万円 2018年12月期 9,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		10.00	10.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	16.6	30	92.1	30	86.8	20	85.0	1.83
通期	28,000	8.4	300	46.3	250	16.4	170	8.5	15.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	11,849,899 株	2018年12月期	11,849,899 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	895,794 株	2018年12月期	895,794 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	10,954,105 株	2018年12月期1Q	10,954,214 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付書類3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が継続し、個人消費は緩やかな回復を持続しています。その一方で、中国経済減速に伴う輸出および生産の下振れを受け景況感は悪化し、設備投資も足踏み状態となりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、車載機器向けは堅調に推移するものの、中国市場向けの半導体製造装置やロボットなどの産業機器などは低調に推移しました。

このような事業環境の中、当社グループの基盤事業である半導体事業においては、FPGA(※1)や特定用途IC、汎用ICなどの販売に努めるほか、収益性を高めるためにAIソリューションの構築、AI関連のパートナー企業との協業などに取り組みました。当社グループの収益性向上のため重要事業と位置づけるデザインサービス事業においては、通信機器、産業機器、放送機器、医療機器向けに設計受託およびODM(※2)を提供してまいりました。半導体販売やデザインサービスで培ったシステム提案力・技術サポート力をベースとし、最終製品レベルでソリューション提案を行うソリューション事業においては、映像配信システム、産業向けIoTソリューションおよび乳幼児呼吸見守りシステムなどの提供を推進しました。

この結果、売上高は71億1千4百万円(前年同期比18.6%減)となりました。半導体事業については、海外の携帯情報端末向けのメモリ製品、ファクトリーオートメーション向けの各種半導体製品が低調に推移したこと、アナログ半導体メーカーであるリニアテクノロジー社との取引が終了したことを受け、同事業の売上高は63億8千2百万円(前年同期比22.3%減)となりました。デザインサービス事業については、航空/宇宙分野および産業機器向けが増加したものの、医療機器、通信機器および放送機器向けが減少したことにより、同事業の売上高は4億6千7百万円(前年同期比1.7%減)となり、ソリューション事業については、映像配信システムおよび乳幼児呼吸見守りシステムなどの販売が増加したことにより、同事業の売上高は2億6千4百万円(前年同期比361.5%増)となりました。

営業利益については、売上総利益率が前第1四半期連結累計期間の11.2%から12.5%と上昇したものの、売上高が減少したため、8千3百万円(前年同期比60.3%減)となりました。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、為替差損が7千2百万円発生したことなどにより、経常損失5百万円(前年同期は経常利益1億3千4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1千5百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益7千9百万円)となりました。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと。

(※2) ODM(Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと。

(2) 財政状態に関する説明

① 財務状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4千1百万円減少し138億5百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品が増加した一方で、未収入金が減少したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ8千4百万円増加し43億8千8百万円となりました。これは主に借入金を返済した一方で、買掛金および賞与引当金などが増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2千5百万円減少し94億1千7百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、および配当金の支払いを実施したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円増加し、25億9千8百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産が増加した一方で、未収入金が減少したことおよび仕入債務が増加したことなどにより、9億1千6百万円の収入（前第1四半期は26億8千1百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産および無形固定資産を取得したことなどにより、4百万円の支出（前第1四半期は3千2百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の返済を実施したこと、および配当金の支払いを実施したことなどにより、3億5千2百万円の支出（前第1四半期は26億5千9百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期における売上高は当初の想定通りに推移していますが、利益面については営業利益8千3百万円、経常損失5百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1千5百万円を計上しており、当初想定からの乖離している状況です。

2019年12月期第2四半期（累計）の連結業績予想に関しては、米中貿易摩擦などの影響により先行きの不透明感が残っており、事業状況についても未だ不透明感が払拭しきれていない状況です。また、第2四半期（累計）業績予想の利益は少額であるため、事業状況や為替相場の変動による利益への影響を反映した業績予想を見通すことが困難な状況です。そのため、現時点において業績予想の修正は行っておりません。2019年12月期第2四半期（累計）および通期の業績予想については、事業状況および為替変動などによる業績への影響が明確になった際に速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,024,225	2,598,945
受取手形及び売掛金	6,354,442	6,251,967
商品	3,126,094	3,493,087
前渡金	53,034	5,158
未収入金	1,097,766	169,670
未収還付法人税等	52,835	59,174
未収消費税等	476,469	546,210
その他	165,793	79,202
貸倒引当金	△1,652	△1,494
流動資産合計	13,349,009	13,201,921
固定資産		
有形固定資産	143,050	140,830
無形固定資産		
のれん	13,376	12,633
その他	26,735	37,048
無形固定資産合計	40,112	49,681
投資その他の資産		
その他	314,795	413,318
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	314,665	413,188
固定資産合計	497,828	603,700
資産合計	13,846,837	13,805,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945,770	1,097,567
短期借入金	2,010,000	1,760,000
未払金	718,003	798,463
未払法人税等	2,605	32,045
賞与引当金	56,982	154,453
その他	313,657	306,020
流動負債合計	4,047,019	4,148,550
固定負債		
退職給付に係る負債	47,976	32,195
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	51,499	50,338
固定負債合計	256,976	240,034
負債合計	4,303,995	4,388,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,556	2,698,556
利益剰余金	5,990,962	5,865,504
自己株式	△481,858	△481,858
株主資本合計	9,547,295	9,421,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	333
繰延ヘッジ損益	△1,312	△1,436
為替換算調整勘定	△3,476	△3,698
その他の包括利益累計額合計	△4,453	△4,801
純資産合計	9,542,842	9,417,036
負債純資産合計	13,846,837	13,805,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,741,976	7,114,911
売上原価	7,763,048	6,227,546
売上総利益	978,928	887,364
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	301,331	312,413
貸倒引当金繰入額	93	△158
賞与引当金繰入額	89,299	96,561
賞与	528	1,582
退職給付費用	12,539	△4,447
賃借料	36,183	39,511
のれん償却額	—	743
その他	329,552	358,092
販売費及び一般管理費合計	769,528	804,298
営業利益	209,399	83,066
営業外収益		
受取利息	757	571
受取配当金	—	80
消費税等還付加算金	894	1,028
その他	949	389
営業外収益合計	2,602	2,069
営業外費用		
支払利息	6,368	3,767
支払手数料	29,800	2,165
為替差損	29,170	72,343
売上債権売却損	10,138	9,166
その他	1,925	3,377
営業外費用合計	77,402	90,819
経常利益又は経常損失(△)	134,599	△5,683
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	134,599	△5,683
法人税、住民税及び事業税	66,692	39,585
法人税等調整額	△11,454	△29,352
法人税等合計	55,238	10,232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,360	△15,916
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,360	△15,916

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,360	△15,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△389	△1
繰延ヘッジ損益	△1,479	△123
為替換算調整勘定	△4,743	△222
その他の包括利益合計	△6,613	△347
四半期包括利益	72,747	△16,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,747	△16,264
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	134,599	△5,683
減価償却費	15,271	9,076
のれん償却額	—	743
貸倒引当金の増減額(△は減少)	93	△158
賞与引当金の増減額(△は減少)	90,164	97,470
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,348	△15,780
受取利息及び受取配当金	△757	△571
支払利息	6,368	3,767
為替差損益(△は益)	△19,308	40,700
売上債権の増減額(△は増加)	△242,171	101,006
たな卸資産の増減額(△は増加)	333,067	△369,568
仕入債務の増減額(△は減少)	137,099	154,081
前渡金の増減額(△は増加)	8,970	47,876
前受金の増減額(△は減少)	△3,859	△56,368
未収消費税等の増減額(△は増加)	65,370	△13,860
未収入金の増減額(△は増加)	2,666,685	905,331
未払金の増減額(△は減少)	△23,719	△344
その他	△83,972	39,434
小計	3,085,249	937,153
利息及び配当金の受取額	757	571
利息の支払額	△6,409	△3,831
保険金の受取額	186	—
法人税等の支払額	△398,186	△17,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,681,598	916,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,827	△777
無形固定資産の取得による支出	△900	△3,675
その他	309	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,418	△4,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△75	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,520,000	△250,000
配当金の支払額	△132,338	△101,686
リース債務の返済による支出	△7,342	△1,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,659,756	△352,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,083	15,698
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,659	574,720
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,550	2,024,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,140,891	2,598,945

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。